

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人 黎明の郷

令和6年度 社会福祉法人黎明の郷 法人本部 事業報告

1 基本方針

当法人では、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（障害者総合支援法）に基づき、障害者に対し、生活の場、就労やそのための訓練を行う場を提供するとともに、適正な法人運営に努めた。

障害福祉サービス事業所「トライ工房」及び地域活動支援センター「ひまわり」では、障害者が自立し、社会復帰を行うにあたり、家族の事情や病気の治療などから、生活する場がなかったり、一人で生活したり就労することができない人のために、本人や家族からの相談を受けるとともに、利用者に対し必要な指導や訓練を行い、日常生活及び社会生活を総合的に支援できるよう障害者福祉の増進を図った。

また、当法人においては、新型コロナウイルス感染症などの感染予防対策の徹底も図った。

2 事業内容

- (1) 障害福祉サービス事業所「トライ工房」
 - ・就労継続支援B型事業所 … 定員20人（令和3年7月より変更）
- (2) 地域活動支援センター「ひまわり」

3 事業運営

- (1) 理事会、評議員会及び監査会等の開催

① 理事会の開催状況

開催日	出席者 ／定数	議 題
R6. 4. 23 (決議日)	6／6 (書面)	第1回理事会 ※決議の省略（書面決議） <議案> 議案第1号 社会福祉法人黎明の郷 評議員選任候補者の推薦について 議案第2号 社会福祉法人黎明の郷 評議員選任・解任委員会の日時及び場所等について
R6. 6. 3	6／6	第2回理事会 <議案> 議案第3号 令和5年度社会福祉法人黎明の郷 事業報告について 議案第4号 令和5年度社会福祉法人黎明の郷 収支決算について 議案第5号 社会福祉法人黎明の郷 令和6年度定時評議員会の日時及び場所等について 議案第6号 社会福祉法人黎明の郷 評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第7号 障害福祉サービス事業所トライ工房就労継続支援B型事業管理運営規定の一部改正について <報告> 報告第1号 理事長の職務の執行及び日常業務の報告について 報告第2号 社会福祉法人黎明の郷評議員選任候補者のみなし決議結果について <その他> 今後の主な日程について

開催日	出席者 ／定数	議 題
R6. 7. 22	5／6	第3回理事会 <議案> 議案第8号 令和6年度社会福祉法人黎明の郷 収入支出補正予算（第1号）について <その他> 今後の主な日程について
R7. 3. 18	6／6	第4回理事会 <議案> 議案第9号 社会福祉法人黎明の郷 職員給与規程の一部改正について 議案第10号 社会福祉法人黎明の郷 就業規定の一部改正について 議案第11号 社会福祉法人黎明の郷 定年後再雇用規定の一部改正について 議案第12号 令和7年度社会福祉法人黎明の郷 事業計画について 議案第13号 令和7年度社会福祉法人黎明の郷 収入支出予算について <報告> 報告第3号 専決処分事項の報告について（専決第1号） 報告第4号 理事長の職務の執行及び日常業務の報告について <その他> 今後の主な日程について

② 評議員会の開催状況

開催日	出席者 ／定数	議 題
R6. 6. 24	6／7	定時評議員会 <議案> 議案第1号 令和5年度社会福祉法人黎明の郷 収支決算について <報告> 報告第1号 令和5年度社会福祉法人黎明の郷 事業報告について 報告第2号 社会福祉法人黎明の郷 評議員選任・解任委員会委員の選任について <その他> その他

③ 監査会の開催状況

- ・開催日 令和6年5月23日
- ・出席者 杉野監事、沼田監事
- ・監査内容 令和5年度分収支決算及び事業報告等について

④ 評議員選任・解任委員会の開催状況

- ・開催日 令和6年5月2日
- ・出席者 間ヶ数委員長、沼田委員、瀧淵委員
- ・協議内容 社会福祉法人黎明の郷評議員の選任について

(2) 職員の処遇

① 健康管理

定期検診を実施することにより、職員全員の健康管理に努めた。

- ・ 期 間 令和6年6月～11月
- ・ 内 容 視力検査、聴力検査、X線、血液検査、尿検査、心電図、女性検診、男性検診、問診

② 資質向上

講習会・研修会等への参加についての便宜を図り、法人として職員の資質向上に積極的に努めた。

4 交流事業の開催

「れいめいフェスタ」に代わる新たな交流事業については、事業内容等について検討を行った。

5 法人の業務及び財務情報の開示

地域交流室に法人の業務及び財務に関する書類の閲覧場所を設置し、法人としての重要な情報を市民に開示した。

6 非常災害対策

非常災害対策として、火災の発生や地震による災害を想定し、施設の利用者と職員による避難訓練を実施した。

- ・ 訓練内容 避難経路、避難場所、災害通報の手順等の周知徹底を図り、火災を最小限の被害に留めるための初期消火及び人命と安全確保を最優先とする避難訓練を行った。
- ・ 実施時期 (1回目) 令和6年5月30日、(2回目) 令和6年11月29日
- ・ 避難場所 法人施設の前庭(施設内から避難)

7 寄附の受け入れ

(1) 寄附金

年 月 日	寄 附 者 名	寄附金額
R6. 9. 17	浄土真宗本願寺派高岡教区寺族青年会	20,000 円
R6. 12. 11	小矢部市善意銀行(小矢部市連合婦人会の預託)	5,000 円

(2) 寄附物品

年 月 日	寄 附 者 名	寄附物品名
R6. 12. 4	小矢部市連合婦人会	日用品等
R7. 2. 27	富山県「北日本放送」社会福祉事業基金	冷凍冷蔵庫

令和 6 年度 障害福祉サービス事業所「トライ工房」 事業報告

1 基本方針

通所利用を希望する障害者に、作業指導・生活指導等を行いながら、「生活の自立支援」、「就労支援」等の供与を図り、地域において健康で文化的な生活を営むことができるよう支援することを目的とした。

2 職員の職種、数及び職務の内容

職 名	人 数	職 務 内 容
施 設 長	1	・ 障害福祉サービス事業所「トライ工房」業務の統括（ひまわりと兼務）
サービス管理責任者	1	・ 関係機関とのサービス提供に関する連絡調整等 ・ サービス提供に関する利用者からの相談業務等
目標工賃達成指導員	1	・ 工賃向上のための各種取り組み
職業指導員	2	・ 利用者が自立できるよう必要な就職上の技術指導等 ・ 利用者の心身状態を配慮した就職意欲向上支援等
生活支援員	1	・ 利用者からの日常生活面等の相談、メンタルケア業務等 ・ 利用者の心身状況を配慮した生活意欲、社会参加向上支援等
嘱 託 医	2（2）	・ 利用者の心身状況、支援対策等
合 計	8（臨職等 2 を含む）	

3 事業運営

(1)各種会議

会議名	職 員	実施回数	内 容
ミーティング	法人職員	毎朝	・ 一日の予定（相談・訪問・行事など）の確認に関する事 ・ 利用者の処遇、職員間の情報共有等に関する事
職員会議	トライ工房職員	毎夕	・ 利用者の支援状況、支援対策に関する事
運営会議	トライ工房職員	随時	・ トライ工房の年間行事、施設修繕等に関する事
ケア会議	関係職員	25回	・ 施設利用者の事例検討に関する事 ・ 援助・支援計画に関する事
工賃向上会議	トライ工房職員	随時	・ 受託・自主製品作製、販売に関する事
利用判定会議	関係職員	3回	・ 利用希望者の利用の可否、支援計画等に関する事

作業工賃評価会議	関係職員	4回	・利用者の強みや課題を整理し、職員間で共有 ・工賃計算をする基になる各評価項目について検討
症例検討	嘱託医、関係職員	2回	・利用者の心身状況、支援対策等について検討

(2) 職員研修等

年 月 日	研修名	参加職種	場 所
R6.4～R7.3	自立支援協議会就労支援部会	目標工賃達成指導員	ワークハウスとなみ野
R6.5～R7.3	小矢部市障害支援区分判定審査会	サービス管理責任者	小矢部市総合保健福祉センター
R6.7.5	令和6年度事業所説明会	サービス管理責任者	砺波市まなび交流館
R6.7.19	砺波圏域就労支援ネットワーク会議	目標工賃達成指導員	富山県西部体育センター
R6.8.23	令和6年度アンガーマネジメント研修	サービス管理責任者	富山県民会館
R6.10.15	令和6年度富山県精神保健福祉大会	目標工賃達成指導員	富山県民会館
R6.12.8	第9回だれでも参加、自ら体験・防災訓練	サービス管理責任者	クロスランドおやべ
R7.2.25	先進事業所実践報告会	目標工賃達成指導員	富山県民会館
R7.3.10	令和6年度砺波圏域就労系福祉サービス事業所研修会	サービス管理責任者	砺波体育センター
R7.3.31	令和6年度事業者説明会	サービス管理責任者	動画視聴

4 利用者の処遇

(1) 利用定員

就労継続支援B型事業所・・・20人

(2) 受入れ手順

申し込み → 見学 → 体験実習（5日間） → 認定調査 → 支給決定 → 通所・利用契約

(3) 利用料その他の費用

支給決定した市町村が定めた利用者負担金を徴収。

(4) 送 迎

自主通所が困難な方のために、送迎を実施した。ただし、利用料は無料とした。

(5) 食事（昼食）

昼食の弁当を持参しない方は宅配弁当を利用した。急速冷凍された弁当を専用のスチーマーにて解凍し、利用者に提供した。

毎日の食事摂取量を確認し、体調の変化等に一早く気付けるように対応した。

(6) 健康管理

利用者のケース記録等からその状況を把握し、主治医、ケースワーカーと情報交換を行うことにより、その後の援助と対応に努めた。

また、年2回BMI測定を行い数値が高かった方には、健康指導を行った。

(7) 衛生管理等

利用者が使用する施設の衛生管理に努めるとともに、授産事業を行う作業室の安全管理に努めた。

(8) 新型コロナウイルス感染防止対策

毎日、検温を行い利用者の健康状態を確認するとともに、定期的な換気や消毒等を行い感染防止に努めた。

(9) 傷害保険

施設外就労等、施設外での活動の機会が増加したこともあり、デイケア傷害保険に加入した。

(10) 年間行事

R6. 4. 5	お花見	社会見学、レクリエーション	庄川水記念公園	14名
R6. 7. 29 8. 7	ポップサーカス富山	レクリエーション	アルペンスタジアム	7名
R6. 9. 7	第24回ダーナ・バザー	地域交流、販売	西本願寺高岡会館	2名
R6. 10. 12	おやべ元気フェスティバル	地域交流、販売	クロスランドおやべ	2名
R6. 10. 26	小矢部市社会福祉大会	地域交流、販売	クロスランドおやべ	2名
R6. 11. 8	秋の外出行事	レクリエーション	五箇山方面	11名
R7. 1. 6	新年会	レクリエーション	トライ工房	19名

5 就労継続支援B型事業

(1) 作業・就労指導

利用者のニーズに応じて選択肢を広げ、通所による生産活動やその他の機会の提供を通じて多様なサービスを提供し、就労に必要な知識及び能力の向上や生活面での相談支援を効果的に実施しながら、就労継続のための支援を行った。

具体的な指導内容（就労継続支援B型事業所）

作 業	内 容
ダンボール加工	・組み立て、のりづけ加工、箱折り
衣類の値付け、梱包	・衣類等の値付け、シール貼り、梱包
シール貼り	・靴箱にシールを貼る
箱詰め作業	・贈答品等の箱詰め
プラスチック加工	・組立て、溶着
電子部品加工	・無線機等の組み立て

自主製品作製・販売	・コーヒー販売、アクリルたわし、竹炭加工等
施設外就労	・里芋の根取り、はと麦の選別、草刈り等 (延べ 354 名)

(2) 日 課

通所日……月～金曜日（土、日、祝日は休館）

9 : 2 0	体操・ミーティング
9 : 3 0	作業訓練
1 0 : 4 5	休憩
1 1 : 0 0	作業訓練
1 2 : 0 0	昼食・休憩
1 3 : 0 0	作業訓練
1 4 : 3 0	休憩
1 4 : 4 5	作業訓練
1 6 : 0 0	片付け・清掃
1 6 : 1 0	帰宅

(3) 利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数 (人)	358	345	337	369	315	340	392	338	349	343	267	293	4,046
開所日数 (日)	21	22	20	22	18	21	24	20	20	19	18	20	245
平均利用者数 (人)	17.0	15.7	16.9	16.8	17.5	16.2	16.3	16.9	17.5	18.1	14.8	14.7	16.5

(4) 工賃の支払い

通所者の作業時間、作業能力に応じ、毎月工賃を支払った。

平均利用者工賃……20,899 円/月額（令和 5 年度 20,338 円/月額）

6 虐待防止委員会の設置

虐待の未然防止や虐待事案発生時の検証や再発防止策の検討等を行う虐待防止委員会を設置した。

7 小矢部市障害者地域活動支援事業

小矢部市からの受託事業として、ボランティア講師を招き、以下の活動を実施した。

実施日	実施内容	参加者数
R6.12.16	フラワーアレンジメント	20 人
R7.3.28	本格焙煎珈琲を楽しもう	33 人

8 砺波地域障害者自立支援協議会 就労支援部会への参画

砺波地域（小矢部市、砺波市、南砺市）における障害福祉のシステムづくりを行う砺波地域障害者自立支援協議会の就労支援部会に参画し、圏域における就労課題について協議した。

9 家族との連携

入所・退所時には家族にも来所してもらい、家庭での状況の把握や今後の援助と連携について話し合いの機会を持った。また、経済的・社会的援助が必要な場合は、適宜連絡をとり、密接な情報交換を行った。

10 医療機関との連携

利用者の心身不良時の対応について、医療機関からの電話連絡等により随時助言をいただいた。

11 嘱託医との連携

2名の嘱託医に依頼し、利用者の援助計画及びその援助の状況について助言をいただくとともに、職員の利用者への対応等について相談を行った。

12 地域との連携

(1) 地域交流

綾子ふれあい朝市（休止中）

(2) 協力事業

自助グループ「赤とんぼ」

期 日……毎月第1土曜日 10:00～12:00

場 所……地域活動支援センターひまわり 地域交流室

内 容……清掃活動、勉強会、社会見学ツアー、機関誌作成など

13 ボランティア受け入れ体制

ボランティアについては、トライ工房のイベントや行事に積極的に受け入れるとともに、ボランティア活動を通して、障害者やその家族との交流を図りながら、よき理解者、支援者になっていただいた。

14 内部点検の実施状況について

定期的に施設内と周辺の点検を行い、施設を安全に利用できるように心掛けた。

令和6年度 地域活動支援センター「ひまわり」事業報告

1 基本方針

障害者に創作的活動や生産活動の機会提供や、地域社会との交流機会を図りながら、日常生活及び社会生活の向上につながるよう総合的に支援する。また、障害者からの相談に応じ、行政、保健医療サービス、障害福祉サービス事業を提供する関係機関と連携しながら、本人の意向、障害の特性などに応じ必要な援助を行い、障害者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援することを目的とした。

2 職員の職種、人数及び職務内容

職 名	人 数	職 務 内 容
施 設 長	1	地域活動支援センター業務の統括（トライ工房と兼務）
相 談 支 援 専 門 員 (精神保健福祉士、 社会福祉士)	2	利用者の経済的、心理的、社会問題・生活問題・健康問題等の相談受付及び解決援助業務
指 導 員	2	利用者の要望に応じた生活指導や、自立した社会生活を営むことができるよう必要な支援業務
合 計	5	

注1) 相談支援専門員の有資格者数は、社会福祉士1、精神保健福祉士1となる。

3 各種会議・研修

(1) 運営・利用者処遇に関する会議

区分	会議名	職 員	実施日	内 容
法人職員の 連絡調整に 関すること	ミーティング	法人職員	毎朝	・一日の予定の確認及び利用者の状況確認と、職員間の連絡調整に関すること
	法人職員会議	法人職員	3回	・行事や災害対策に関すること
	虐待防止委員会	法人職員	1回	・虐待防止について法人内研修
センター事業に関する こと	運営会議	ひまわり職員	1回	・利用者の支援状況の確認、検討に関すること ・地域交流行事の実施参加等に関すること
	登録者会議	ひまわり職員	4回	・登録を希望する利用者の状況把握に関すること ・必要に応じてカンファレンスの実施及び支援方法に関すること
	ケースカンファレンス	法人職員	2回	・利用者の援助に必要な情報交換及び自立に向けた援助方法に関すること
	地域交流会議	関係機関等	1回	・地域交流のための行事企画に関すること
	感染対策委員会	ひまわり職員	3回	・感染症の予防及びまん延防止の整備に関すること
利用サービス に関する こと	障害福祉サービスケア会議	ひまわり職員、関係機関等	40回	・障害福祉サービスの希望者への必要なサービス等利用計画作成のための担当者会議に関すること
施設整備に関する こと	備品設備会議	ひまわり職員	1回	・備品・物品等の購入、設備管理に関すること
	営繕工事会議	法人職員	1回	・修繕計画に関すること

(2) 職員研修

年月日	研修会名	場 所	参加職種
R6. 5. 29	令和 6 年度障害支援区分認定調査員研修	富山県民会館	相談員
R6. 6. 13	令和 6 年度障害理解を深める基礎研修	津沢コミュニティプラザ	相談員
R6. 6. 15	令和 6 年度富山県相談支援専門員協会 通常総会記念講演会	富山県総合情報センター	相談支援専門員
R6. 8. 1	令和 6 年度福祉職員キャリアパス対応生 涯研修課程管理職員コース・1	サンシップとやま	相談支援専門員
R6. 8. 2	令和 6 年度福祉職員キャリアパス対応生 涯研修課程管理職員コース・2	サンシップとやま	相談支援専門員
R6. 9. 4	令和 6 年度多職種合同事例検討会（第 1 回）	小矢部市総合保健福祉セ ンター	相談員
R6. 9. 5	令和 6 年度ひきこもり支援者研修会	富山県教育文化会館	相談員
R6. 9. 13	令和 6 年度小矢部心を考える会研修会	小矢部市総合保健福祉セ ンター	相談員
R6. 10. 19	令和 6 年度北信越ブロック家族会福井大 会	福井県協ビル	相談支援専門員
R6. 10. 24	令和 6 年度精神障害者関係職員研修会及 び交流会	ゆりの木の里	相談員
R6. 10. 24	令和 6 年度自殺対策専門研修会・自殺対 策推進センター連絡会議	富山県民会館	相談支援専門員
R6. 11. 14	令和 6 年度富山県精神障害者障害福祉サ ービス事業所連絡協議会研修会	せせらぎハウス黒部	相談員
R6. 11. 20	令和 6 年度多職種合同事例検討会（第 2 回）	小矢部市総合保健福祉セ ンター	相談支援専門員
R6. 11. 22	令和 6 年度基幹相談支援センター強化研 修	津沢コミュニティプラザ	相談支援専門員
R6. 12. 5	砺波地域障害者自立支援協議会当事者 委員会研修会	砺波市出町子供歌舞伎曳 山会館	相談支援専門員
R6. 12. 10	富山県孤独孤立対策官民連携プラット ホーム令和 6 年度第一回勉強会	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R6. 12. 17	令和 6 年度富山県精神障害者支援人材育 成研修（第 1 回）	富山県民会館	相談員
R7. 1. 14	令和 6 年度富山県精神障害者支援人材育 成研修（第 2 回）	富山県民会館	相談員
R7. 2. 13	令和 6 年度障害者福祉施設従事者等のた めの虐待防止研修（1）	砺波まなび交流館	相談支援専門員
R7. 2. 18	令和 6 年度 富山県福祉施設従事者等の ための虐待防止研修（2）	ZOOM（相談室）	相談支援専門員
R7. 3. 5	令和 6 年度多職種合同事例検討会（第 3 回）	小矢部市総合保健福祉セ ンター	相談員
R7. 3. 5	令和 6 年度 障害者虐待防止マネジャー 研修会	障がい者サポートセンタ ーきらり	相談支援専門員
R7. 3. 11	令和 6 年度 富山県障害者虐待防止・権 利擁護研修会	富山県民会館	相談支援専門員

4 利用者

(1) 対象者

地域で生活をしているが、障害があるため日常生活を営むのに支援を要する人を対象とした。

(2) 登 録

個人に対する細やかでかつ継続的なサポートを提供するため、利用者の登録をした。登録時には、「地域活動支援センター利用申込書」に必要事項を記入のうえ、「主治医の意見書」を添付し、ひまわりへ提出する。その後、「地域活動支援センター利用契約書」により契約を締結した。

市別登録者数

市名	小矢部市	高岡市	砺波市	南砺市	その他	合計
人数	108 人	12 人	13 人	14 人	3 人	150 人 (R5 年度 147 人)

男性登録者数 86 人 女性登録者数 64 人

延利用者

内 容	来 所	電 話	訪 問	合 計
人数	4, 339 人	1, 290 人	431 人	6, 060 人 (R5 年度 5, 943 人)

市別利用者実人数（登録外を含む）

市名等	小矢部市	高岡市	砺波市	南砺市	その他	合計
人数	118 人	21 人	12 人	7 人	5 人	163 人 (R5 年度 168 人)

(3) 開所日

火曜日～土曜日（月曜日、日曜日及び祝日は休館）

(4) 開所時間

10：00～17：00

(5) 利用料

無料

(6) 記 録

① 登録者個票

ひまわり登録者の個票を作成し、利用開始日や利用しているサービス、その援助内容や援助計画について記録した。

② 個別記録

登録者及び訪問者等それぞれの個別記録を作成し、相談や訪問などの援助経過の記録、支援活動参加状況などについて記録した。

③ センター業務日誌

利用者及び来所者の把握をするとともに、その日の活動や施設内での出来事について記録した。

④ 相談支援業務日誌

利用者からの一般相談及び計画相談についての方法、経路及び支援内容を記録した。

(7) ニーズの把握

登録者の生活及び疾病治療等に関するニーズを把握するため個別面接を実施し、随時、家族や関係機関へ情報提供を行い、支援方法等を検討した。

(8) 利用状況の把握

1 年を通して利用された人数や利用されたサービス、年齢及び居住地などを把握することで利用者の増加を図り、利用しやすいよう努めた。

5 業 務

(1) 指定特定相談支援業務

指定特定相談支援事業所として障害者からの相談を受け、障害支援区分認定調査とサービス等利用計画の策定及びモニタリング票の作成等を行い、小矢部市からの受託事業として実施した。

① 相 談

生活問題や就労問題、住宅問題、あるいは家族調整を含む対人関係の問題などに対して来所や電話により相談に応じた。必要時には、医療機関をはじめ、厚生センター、市及び関係機関と連携をとり、ケアカンファレンス会議を開催した。相談の受付は施設の開所時間内とするが、日中の相談や来所が困難な人のために、夜間電話相談日を設けて対応した。

年間相談件数（相談内容別）

相 談 内 容	件 数	相 談 内 容	件 数
福祉サービスの利用支援	355	家計・経済支援	21
障害や病状の理解	66	生活支援	60
健康・医療支援	318	就労支援	114
不安解消・情緒安定支援	199	社会参加・余暇活動支援	7
保育・教育支援	1	権利擁護支援	3
家族関係・人間関係支援	164	その他	141

年間相談件数（相談方法別）

	電 話 (うち夜間電話)	来 所	訪 問	同 行	個別支援 会議	関係機関	その他	合 計
件数	421 (111)	411	139	7	39	431	1	1,449 (R5 年度 1,529 人)

計画相談件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	30	29	28	28	31	20	26	20	22	20	32	20	306 (R5 年度 336 人)

② 訪 問

病院、厚生センター、小矢部市との連携により、ソーシャルワーカー、保健師等からの紹介や情報提供あるいは利用者の依頼により訪問を行った。障害福祉サービス利用者等については個別計画に基づき訪問するとともに、サービス等利用計画作成依頼者については個別計画に基づき訪問してモニタリング票を作成した。

③ 面 接

登録者に対しては定期的又は随時に面接をし、現在の状況の確認をしながら、話し合いの場を提供した。また、未登録者に対しても要望に応じて面接をし、各人の求めるサービス内容の聞き取りや困りごとの解決に努めるとともに、登録をすすめるなど継続的支援を行った。

④ ケアマネジメント

障害者の希望に応じたサービスを総合的に提供できるようにすることを目的として、関係機関と連携したケア会議のもと、ケアマネジメントを行った。

⑤ 認定調査・概況調査

障害支援区分を判定するための認定調査及び認定調査対象者の課題や問題等の調査を行った。(障害支援区分認定調査 16 回、概況調査 306 回)

(2) 指定一般相談支援業務

富山県から指定一般相談支援事業者（地域移行・定着担当）の指定を受け、相談支援専門員・地域移行推進員が退院に向けた相談・助言、地域移行に向けての計画書の作成、同行支援、関係機関との連絡・調整など地域における生活に移行するための支援体制を整えた。また、グループホームや自宅等に退院し、就労継続支援事業所や地域活動支援センターを利用しながら地域生活を継続している障害者に対し、退院に向けてのケア会議を計7回行った。

(3) 指定特定障害児相談支援業務

小矢部市から指定特定障害児相談支援事業所の指定を受け、基本相談支援及び計画相談支援を行った。

相談支援専門員が保護者と障害児からの相談を受け、障害児の生活及び療育を支援するために必要なカンファレンスを実施し、関係機関との調整やサービス利用等について適切な対応をとった。

必要に応じ障害児通所支援（児童発達支援、放課後デイサービスなど）サービス等を利用する前に障害児支援利用計画等を策定し、一定期間ごとにモニタリングを行った。

(4) 日中の活動の場の提供

フリースペース事業

利用時間……ひまわりの開所時間と同様とした。

利用者……ひまわりの登録者を原則とし、未登録者の利用も可能とした。

利用料……無料とし、個人的に使うものは実費を徴収した。

その他……図書貸し出し、テレビ・YouTube・DVD視聴、調理スペースの提供 など

(5) 交流活動

① 利用者交流

※ 自助グループ 赤とんぼ

・日 時…基本毎月第1土曜日 10:00～11:30

・場 所…地域活動支援センターひまわり等

・内 容…当事者が主体となり、グループ討論や交流活動、季節行事等を開催する。
管内の精神科病院、砺波厚生センター小矢部支所、小矢部市、障害福祉サービス事業所職員で支援体制を構成、当事者が主体となる活動を支援した。

・参加者…延べ172名（実施回数12回）

② 地域交流

*生活講座（ひまわりサロン）

・日 時…毎週水曜日 13:30～

・場 所…地域活動支援センターひまわり等

・内 容…健康ウォーキング、買い物ツアー、簡単寝ながらヨガ、カラオケ等

・参加者…延べ443名（実施回数44回）

*ひまわり☆COM

・日 時…毎月第2土曜日 13:30～14:30頃

・場 所…地域活動支援センターひまわり地域交流室等

・内 容…簡単料理教室、夏祭り、救命入門コース、小矢部フォトラリー等

・参加者…延べ193名（実施回数11回）

*ひまわり THE ☆麺 DAY

・日 時…隔月第4土曜日 10:30～

・場 所…地域活動支援センターひまわり地域交流室等

・内 容…うどん、そば等の麺類を作る。information等で周知し参加を募った。

・参加者…延べ88名（実施回数6回）

*ひまわりカフェ

・日 時…隔月第4土曜日 13:30～15:30頃

・場 所…地域活動支援センターひまわり地域交流室

・内 容…簡単なスイーツを作り試食をする。information等で周知し参加を募った。

・参加者…延べ82名（実施回数6回）

＊ひまわりシアター（映画の日）

- ・日 時…毎月第4土曜日 13：30～15：30頃
- ・場 所…地域活動支援センターひまわり地域交流室
- ・内 容…利用者とTV録画を鑑賞した。
- ・参加者…延べ123名（実施回数12回）

＊その他行事

- バスツアー、お花見、ポップサーカス等
- ・参加者…延べ52名（実施回数5回）

③ カルチャー活動

個人の希望や目的に応じ、フリースペースでの自由な活動の場を提供するとともに、講師を招いて、月1回の華道、自力整体などのカルチャー教室を開催した。

(6) 情報提供業務

① 機関誌の発行・ホームページの更新

ひまわり利用者の融和、親睦及び仲間づくりの手段として機関誌を隔月発行し、登録者をはじめ関係機関等に周知した。行事についての感想、利用したサービスへの意見などを掲載するとともに、行事報告・活動の案内等にも利用した。また、ホームページを通じて、ひまわりの概要や活動紹介、毎月の行事予定や活動報告などの情報を提供した。

② 家族支援事業

家族相談会…… 砺波厚生センター小矢部支所をはじめ関係機関と合同で家族教室（家族の集い）を開催した。家族の疾病理解や対応の仕方などの情報を提供するとともに、家族相談会を月1回行い相談の受付も行った。

- ・日 程……毎月第3火曜日 10：00～11：30
- ・相談会回数……12回
- ・相談件数…… 8件（来所相談6件、電話相談1件、訪問1件）
- ・相談者……家族8件、本人0件、親族0件、関係機関0件

6 小矢部市障害者地域活動支援事業

障害者の社会復帰を促進するために、社会復帰に関する活動内容の情報提供を行い、地域住民の理解と協力を得られるように、小矢部市からの受託事業として活動支援を行った。

- ・自助グループ「赤とんぼ」への支援
- ・「メルヘン家族会」への支援

7 啓発事業

民生委員児童委員、自治会長、地域生活アドバイザーなど各種団体へ、ひまわりのパンフレットや機関誌などを配布し、理解の促進を図る。行政機関をはじめ他の機関とも連携し、精神保健福祉関係の講演会などの開催により、障害に対する理解を深めてもらった。

8 関係機関との連携

(1) 厚生センター、福祉行政機関、病院等

関係機関と連携し、地域生活への移行及び社会的な自立を促進するとともに、関係機関と連携しながら、地域における支援体制を構築した。

(2) 社会福祉協議会

社会福祉協議会の協力を得て、障害者への理解とボランティアの育成を図った。また、行事開催時にボランティアの参加協力を依頼した。

(3) 公共職業安定所及び障害者職業センター

就労を希望される障害者に対し求職活動を支援するため、公共職業安定所や障害者職業センターとも連携を図った。

(4) 他の障害福祉サービス事業所

県内の障害福祉サービス事業所の利用者がひまわりを利用される際には、支援方法などについてお互いに連絡・相談を行うとともに、行事等開催時にも相互に協力し合った。

9 メルヘン家族会との連携

メルヘン家族会の事務局を担当し、定例会では施設での状況を伝えるとともに、家族会の意見も取り入れながら連携を図った。(定例会、交流会、家族教室など 延べ147名参加)

10 ボランティア受け入れ体制

障害者やその家族との交流を図り、良き理解者良き支援者になってもらうことを目的に、カルチャー活動等の行事の際には、メンタルヘルスサポーターなどのボランティア活動団体等を積極的に受け入れた。

11 砺波地域障害者自立支援協議会

砺波圏域の障害者福祉について、ひまわりは当事者委員会、運営会議、権利擁護虐待防止委員会に所属し、協議会の事務局の運営に携わった。

(当事者委員会 8回 個別ケア検討会 3回 運営会議等 4回 権利擁護虐待防止委員会 5回 計 20回参加)

12 虐待防止委員会の設置

障害者虐待防止法に基づき、令和4年度より必置となった虐待防止委員会を設置、職員への研修実施と責任者の設置、虐待の未然防止や虐待事案発生時の検証や再発防止策の検討等を行った。(虐待防止委員会 計1回開催)

13 業務継続計画の策定等

感染症や非常災害の発生時において、利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するため、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画を策定し、計画に従い必要な措置を講じた。

14 地域生活支援拠点等の機能を担う事業所

障害者等の重度化・高齢化や親亡きあとに備えるとともに、地域移行を進めるため、重度障害にも対応できる専門性を有し、地域生活において、障害者等やその家族の緊急事態への対応・体験の機会の提供を図ることを目的に、地域生活支援拠点等の機能を担った。

